

県立高校改革実施計画（ 期 ）

横浜緑園高校  
単位制普通科  
設置計画

平成28年10月

神奈川県教育委員会

## 1 対象校・位置・実施年度

- ( 1 ) 対象校 横浜緑園総合高等学校  
( 2 ) 位置 横浜緑園総合高等学校敷地 ( 横浜市泉区岡津町 2 6 6 7 )  
( 3 ) 実施年度 平成 2 9 年度

## 2 設置の目的

総合学科の共通教科と専門教科の学習を総合的に施す教育課程から、単位制の利点をいかしつつ、共通教科・科目を中心とした教育課程にすることにより、生徒の学習ニーズ及び進路希望の状況、生徒の状況に対応した一層きめの細かい指導を展開することができることから単位制の運用による普通科に学科を改編し設置する。

## 3 基本的コンセプト

単位制による全日制普通科の県立高校として教育を展開する。

### 豊かな人間性や社会性の育成

社会人・職業人となるために必要な基礎的な力を身に付けさせ、さまざまな人と関わることをとおして豊かな人間性や社会性を育み、自らの力を伸長させるために挑戦できる生徒を育成することをめざす。

### 共通性の確保と生徒の個性や特性の伸長

単位制による普通科として、共通教科の科目を中心とした構成を基本とした教育課程編成と年次ごとに共通に学ぶ科目を定めることを基本とした教育課程による年次進行型での運用により、共通性の確保と生徒の個性や特性を伸ばし、より一層の学力の向上を図る教育を展開する。

### 柔軟な教育課程編成とガイダンス機能の充実

単位制の利点をいかすことにより、生徒の単位修得をきめ細かく行えるように工夫するとともに、進路希望の実現に向けた柔軟な教育課程編成とガイダンス機能の充実など指導・支援体制を整える。

これからの時代に求められる資質と能力の育成

確かな学力を身に付けさせるため、自ら課題を発見し解決する力、他者と協働するためのコミュニケーション能力、物事を多様な観点から論理的に考察する力など、これからの時代に求められる資質と能力の育成を重視する。

#### 4 設置形態

- (1) 課程 単位制による全日制の課程
- (2) 学科 普通科
- (3) 学校規模 全日制の課程  
普通科 840～1,080名  
(各年次280～360名 7～9学級規模程度)  
学級規模は予定であり、入学定員の発表時に確定
- (4) 修業年限 3年 在学年限は原則として6年
- (5) 学期 2学期制
- (6) 履修形態 共通教科の科目を中心とした必修科目及び選択科目による履修
- (7) 授業展開 50分6限を基本とし、必要に応じて弾力的な授業時間を設定  
<日課表> (予定)

	(月)～(金)
ショートホームルーム	8:40～8:45
1 校 時	8:50～9:40
2 校 時	9:50～10:40
3 校 時	10:50～11:40
4 校 時	11:50～12:40
昼 休 み	12:40～13:25
5 校 時	13:25～14:15
6 校 時	14:25～15:15
ショートホームルーム	15:15～15:20

#### 5 入学者選抜

- (1) 募集の区分 一般募集(中学校卒業見込み者及び中学校既卒業者)
- (2) 選抜の区分 共通選抜
- (3) 選考の方法 事前に公表した「公立高等学校入学者選抜選考基準」に基づいて、選考する。

## 6 教育課程

### (1) 基本的方針

高等学校在籍3年以上で、必履修科目を履修し、高等学校学習指導要領に基づき、学校において定めた単位を修得することで卒業とする。

生徒に高度な普通教育を施し、一般的な教養を高めるとともに、進路希望の実現に向けた科目構成とする。共通教科の科目を中心に編成し、学校設定教科・科目については、精選を図る。

### (2) 教育展開の方針

基礎的な科目から応用・発展的な科目を設置し、系統的な学習の展開を図る。

生徒一人ひとりの興味・関心、進路希望などに応じて、科目を選択して学ぶことが可能となるよう配慮する。

地域の特性を活用した県立高校生学習活動コンソーシアムによる教育を展開する。

ボランティア活動やインターンシップ等の学校外活動を積極的に推進する。

### (3) 編成の方針

単位制の利点をいかしつつ、年次ごとに共通に学ぶ科目を定めることを基本とした教育課程による「年次進行型」での運用に取り組む。

年次進行型については、必履修科目を中心に一定の科目を年次進行にしたがって履修する。

単位制の利点をいかした生徒の卒業や単位認定に関する弾力的な運用を行う。

科目選択においては、学校目標などに基づき、生徒の選択状況等を十分に勘案し、進路希望の実現に向けたきめ細かい履修指導を行う。

(4) 教育課程表 (予定)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1年次	国語総合				現代社会	数学			数学A	化学基礎	体育			保健	音楽 /美術 /書道	コミュニケーション 英語			英語表現	家庭基礎	社会と情報	総合的な学習の時間	L H R							
2年次	現代文B	古典A	国語表現, 英語研究 /数学			世界史A	生物基礎	物理基礎 /地学基礎		体育			保健	コミュニケーション 英語			世界史B/日本史B /地理B/化学 /地理A/政治・経済 /倫理/郷土史かながわ (4単位選択)	数学B /音楽 /美術 /書道 /工芸 /手話	総合的な学習の時間	L H R										
3年次	現代文B	日本史A	体育	コミュニケーション 英語		古典B/世界史B/日本史B/地理B /現代文研究/古典研究/地理A/世界史研究 /日本史研究/地理研究/政治・経済/郷土史 かながわ/倫理 (6単位選択)			必修選択科目 (4単位選択)			自由選択科目 (0～8単位選択)						総合的な学習の時間	L H R											
				数学 /物理/生物/地学 /数学探究 (6単位選択)																										

3年次選択科目 (必修選択科目及び自由選択科目)

国語表現、現代文研究、古典B、古典研究、児童文学研究、世界史B、日本史B、地理B、倫理、政治・経済、数学B、数学探究、数学探究、物理、化学、生物、地学、スポーツ、音楽、音楽、身近な楽器に親しむ、美術、美術、生活の中の美術、書道、書道、実用の書、工芸、工芸、英語研究、フードデザイン、子どもの発達と保育、情報の科学、プログラミング入門、コンピュータ基礎、手話、手話、演劇表現

( 囲いの数字は単位数 )

教育課程表は予定であり、変更することがある。

(5) 学習指導の工夫

知識の質や量の改善とともに、学びの質や深まりを重視し、課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習や、そのための指導の方法等を充実させる取組みを図る。

自らの学習目的や進路希望に基づいて、主体的に学習を進めることができるよう、また、基本的な内容から発展的な内容を含め、生徒一人ひとりの個性と能力の伸長を図ることができるよう指導する。

#### (6) 生徒指導等の工夫

特別活動（ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事等）や部活動等の集団活動により、さまざまな個性を相互に尊重し、より良い人間関係の構築と自立をめざす指導を行う。

生徒の状況を的確に把握し、さまざまな課題を抱える生徒に対して、一人ひとりに応じた適切な配慮や支援を、学校全体で行う体制を整える。

生徒理解を深めることを基本に、生徒相互の良好な人間関係を育むとともに、生徒と教師との信頼関係を大切にしながら生徒指導に取り組む。

S H R活動をいかして、生活面からの改善を図り、学習に対する姿勢を養うことで、進路についても高い目標に向けた指導や支援を行う。

#### (7) 進路指導の工夫

生徒が自己のあり方、生き方を考え、主体的に進路を選択することができるよう、学校の教育活動全体を通じてキャリア教育を推進するとともに、生徒一人ひとりの進路目標の実現を図るため、計画的、組織的な進路指導を行う。

教育課程や学習指導と一体化したきめ細かい指導や進路希望に対応したガイダンスの機能の充実を図るなど支援体制を確立する。

#### (8) 学校経営

学校教育計画に基づき、学校評価や第三者評価の報告をいかすなどして、一層充実した自律的・組織的な学校経営に取り組む。

### 7 施設・設備の整備

単位制による全日制普通科の教育の展開に必要な施設・設備の整備を行う。

### 8 その他

単位制による全日制普通科の教育の展開に必要な職員の配置を行う。





神奈川県

教育委員会教育局指導部高校教育課  
高校教育企画室高校教育企画グループ 電話(045)210-8254(直通)  
横浜市中区日本大通 33 〒231-8509 FAX(045)210-8922  
電話(045)210-1111(代表) 内線 8255・8256